



第6回日本臨床腫瘍学会近畿地区セミナー

～テーマ: immune-oncology network～

時下、先生方に於かれましては益々御清祥のこととお慶び申し上げます。

第6回 日本臨床腫瘍学会近畿地区セミナーを下記の通り開催させていただきます。ご多忙のところ誠に恐縮に存じますが、万障お繰り合わせのうえ、ご出席賜りますようお願い申し上げます。

日時：平成30年6月23日(土) 13:00～17:00
(開場12:30, 大会終了後記念撮影あり)

会場：ホテルエルセラーン大阪
〒530-0003大阪府大阪市北区堂島1丁目5番25号
(梅田と淀屋橋中間、アバンザ堂島のすぐ南)



会費：無料(どなたでもお気軽にお越し下さい)

開会の辞 近畿大学医学部内科学腫瘍内科 中川和彦
事務局連絡：頭頸部がん診療連携プログラムに関する情報提供 清田尚臣

Session 1 (症例検討 irAE, Immne-Cancer Board Conference) 13:20～15:00

複雑なirAE症例に関して気鋭のコメンテーター達が激論を繰り広げる 座長 林秀敏

症例提示①京都大学医学部附属病院腫瘍内科 松原淳一
②大阪市立総合医療センター腫瘍内科 坪口裕子
③神戸大学医学部腫瘍・血液内科 金原史朗

コメンテーター市立伊丹病院呼吸器内科 原聡志/大阪大学消化器癌先進化学療法開発学 坂井大介



Session 2 希少がんに対する免疫チェックポイント阻害薬開発の試み 15:20～16:00

座長:兵庫県立がんセンター腫瘍内科 松本光史

プラチナ製剤抵抗性の再発又は転移性頭頸部非扁平上皮癌患者を対象とした
ニボルマブの第II相臨床試験
神戸大学医学部腫瘍・血液内科 長谷善明

原発不明癌に対するNivolumab(ONO-4538)の有効性を検討する第II相試験
(医師主導治験, NIVOCUP study)
近畿大学医学部内科学腫瘍内科/市立岸和田市民病院腫瘍内科 谷崎潤子

**Session 3: 特別講演 免疫チェックポイント阻害薬の臨床における問題点とその取り組み:
基礎と臨床は如何にして融合すべきか? 16:00～17:00**

司会:座長大阪医科大学臨床研究センター/呼吸器内科 藤阪保仁
演者: 京都大学免疫ゲノム医学教室 茶本健司

閉会の辞 神戸大学医学部腫瘍・血液内科 南博信

【問い合わせ先】近畿大学医学部腫瘍内科 林秀敏 TEL: 072-366-0221 (医局)

主催:日本臨床腫瘍学会

後援:がんプロフェッショナル養成プラン 7大学連携個別化がん医療実践者養成プラン
がんプロフェッショナル養成プラン ゲノム世代高度がん専門医療人の育成
がんプロフェッショナル養成プラン 高度がん医療を先導するがん医療人養成